



The service club to the YMCA

THE Y'S MEN'S CLUB OF TAKARAZUKA

宝塚ワイズメンズクラブ
〒662-0977 西宮市神楽町 5-23
西宮 YMCA 内
Tel (0798)35-5987

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIS EVERY RIGHT

AFFILIATED WITH THE INTERNATION OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22,1988

宝塚ワイズメンズクラブ

2019年12月会報

第372号

主 題 ・ 標 語

国際会長(I P) Jennifer Jones (オーストラリア)

主 題 より良い明日のために今日を築く Building today for a better tomorrow

標 語 さあ動こう On the MOVE!

アジア太平洋地域会長(AP) 田中 博之(東京多摩みなみ)

主 題 アクション! Action!

標 語 誇りと喜びをもって With pride and Pleasure

西日本区理事(RD) 戸所岩雄(彦根シャトー)

主 題 風となれ、光となれ

副 題 こころ豊かにあるために、輝くために

六甲部長 柏原佳子(芦屋)

主 題 スピンネーカーの帆に風を集めて

宝塚クラブ会長 多胡葉子

主 題 ときめきライフをワイズ活動で!

今月のテーマ: EMC-E YES

Eを行うためには、メンバー増強とクラブ内での
中堅メンバー育成が重要。
YES 献金は新規クラブ設立資金です。
牧野篤文 EMC 事業主任(京都トップス)

- ・大阪土佐堀クラブ・大阪センテニアルクラブ
- ・宝塚クラブ

クリスマス合同例会

日 時 12月11日(水)

会 場 宝塚ホテル

会 費 5,000 円

プログラム

18:00 クリスマス礼拝 ～旧館5F チャペル～
メッセージ 宝塚教会 浦上結慈牧師

18:45 合同例会 ～新館3F シルバーの間

開会点可燃

ワイズソング

美味しいディナー

クラブ自慢のかくし芸

誕生日のお祝い

20:45 閉会点鐘

記念集合写真

2019～2020

役 員

会長 多胡 葉子 直前会 青柳 美知子
副会長 石田 由美子
書記 若林 成幸
会計 小林 康男 堀江 裕一 吉田 明
会計監査 加藤 光信 今田 和子
連絡主事 谷川 尚
メネット連絡 福田素子
六甲部地域・環境主査 青柳 美知子

誕生日

今田和子(24日)
谷川友子(15日)

11

月

実

績

例会出席者数 31名
在籍会員数 21名
出席会員数 15名
出席率 71.4%
メイクアップ(内数) 0名
メネット 1名
コメント・孫メット 0名、
ゲスト・ビジター 15名
例会充足率 147%

BFポイント 11月 4,465 円
累 計 17,886 円
にこにこBOX 11月 2,000 円
累 計 31,500 円
ファンド(物品販売) 7,500 円
累 計 16,500 円

聖句

主はその腕で力を振るい、思い上がるものを打ち散らし権力ある者をその座から引き降ろし、身分の低い者を高く上げ、飢えた人を良い物で満たし、富める者を空腹のまま追い返されます。
(ルカ福音書 1:51-53)

随想

昨年のアドベント、周防大島教会をお訪ねして久しぶりに辻建先生の説教を聞きました。その時のテキストが「マリアの賛歌」でした。賛歌の中で、ここに引用した 51 節～53 節だけは特異な印象です。思い上がる者、権力ある者、富める者を退け、身分の低い者、飢えた者を引き上げる神をマリアは賛美している。しかも、その言葉の激しさが目を引きます。打ち散らし、引き降ろし、追い返す…。「この厳しさは尋常じゃない」とつぶやくように言われました。この言葉の背景には、いわゆる格差が広がりつつある当時の社会状況と、その影響を受けつつあった教会の姿があった。

そんな当時の人々に、教会の本来あるべき姿を示すため、福音書記者ルカはマリアの口にこのメッセージを託した、と。お年を召されたとはいえ、相変わらず明解な先生の説教を聞きながら、改めて大切な側面を示されました。それは一言でいうと「公正・正義への希求」です。この世界と歴史を覆っている理不尽や不条理を見逃さず、正しく裁かれる審判者を渇き求めることです。これなしに福音のメッセージにはならない。学生の頃、福音主義的な内面的信仰が基本であって、社会の問題に対処するのはその応用問題ではないでしょうかと尋ねたことがあります。

すると先生は言われました、「いや、それは違うぞ、俊郎…」。それはやはり基本との応用の様に分けるものではなく、車の両輪のように一つでなければならないのだと分かるようになりました。

礼拝後、先生と教会の皆さんと、一緒にカレーライスを頂きました。「今日はすぐ病院に帰るけど、こんどゆっくり、また来いや」。その時の言葉が私にとって最後になりました。

金田俊郎

(随想に出て来た周防大島教会)



11月第1例会報告

11 月 13 日(水)6:30p.m.さくら眼科クリニック医院長関山英一氏より「ベトナムでのボランティア活動」と題して、宝塚クラブ第一例会が開催された。今回は宝塚クラブメンバー 15 名を上回る 16 名のゲストをお迎えしての例会となり、その中の 8 名の方がベトナム協会の方々の参加であった。

関山先生の恩師であられる服部匡志先生が長年ベトナムでの医療支援活動に従事されておられるのに、大いに感動、感銘を受けられ、ご自身もスタッフ 2 名、また時にはご令息をも伴い、ほぼ毎年 1 回ベトナムでの医療支援に出向くようになった。服部匡志医師ご自身がテレビで『ベトナムのひかり』というのにドラマ化されたのは、皆さんの記憶には新しいものではないでしょうか。

2013 年 12 月より、毎年 4 日の予定で、スタッフ 2 名を伴いベトナムを訪問、およそ 120 名の患者さんに白内障の手術を施されてこられた。昨今、我国では白内障の手術は日帰りを受けられる身近な手術になりつつある。失明原因として、わが国では 8 位と言われるのに対して、ベトナムでは 1 位とのこと。手術は無料で施される。ベトナムの病院は日本と異なり、手術室等の環境、照明等の不備、器械等の性能の悪さ、刃物の切れ具合、手術数の多さ等が掲げられるが、患者さんたちの笑顔、他の医師の手術より、多くを学ぶことができ、チームで一つのことを成し遂げる達成感等を味わえることができることは、何事にも代えがたい存在であるとのことでした。渡航費、諸費用等は全て自前というボランティア精神には頭が下がる思いをした次第です。



また、先生は最近増加しつつある「不登校」の原因の研究に余念がない日々とのことで、お話を終えられました。

その後、お誕生日のお祝い、YMCA 報告(チャリティ・ラン/じゃがいも完売)、「キャロルを歌う夕べ」の予告等で会長の閉会点鐘となりました。

福田宏子

11月第2例会報告

11 月第 2 例会が 11/20(水)18 時から西公民館パーティー室で行われ、多胡会長、長尾、小林、谷川、青柳、武田、今田、福田宏、福家、鯖尻、若林各メンの 11 名が出席した。12 月からメーリング方法が「らくらく連絡アプリ」に替わることから、長尾メンが個人の PC への切替えを指導した。議事要旨は次の通り。

1. 12/11 合同例会について

クリスマス例会は大阪センテイにアル・大阪土佐堀クラブとの合同例会になることからプログラム・役割分担・進行について確認を行った。礼拝は 18 時開始、合同例会は、会場をシルバーの間に移し 18:45 開会とする。宝塚クラブは花組のフラを披露する。80 名程度の参加を見込み交流の深まることを期待した。

2. 1～3 月の例会ゲストについて

- 1/8 新年は英語落語。筆本美智子さん(土佐堀クラブ福島メンの姉)と乙野はる子さんの 2 人を決定した。
- 2/12 TOF 例会。若者招待としてリーダー研修会報告(人選は谷川メン)と杉谷メンのシアトル事情報告。
- 3/11 青木俊一朗氏(日中経済貿易センター相談役)を招く。「21 世紀のグローバル活動と国際貢献」

3. キャロルを歌うタベについて

12/20 市民クリスマスの運営・役割分担について若林メンが報告。特に、障害者への配慮、来場者が定員超えの場合の安全確保・手順等について確認した。(役割分担表は別記)

4. 次期会長候補について

多胡会長から次期会長として若林メンの推薦があり、当人の即答はなかったが説得を続ける意向が示された。

5. ジャガイモ販売について

小林面からジャガイモ会計の報告が行われ、310 箱の全数を完売し、皆さんの協力に謝意が示された。なお、売上金の未回収分はできるだけ早く入金を。

売上 709,600 円 仕入原価 504,060 円 経費 440 円 純益 205,100 円

6. 地域行事への参加について

- ①3/7～8 宝塚 NGO 活動展への参加を検討。主催者の実施内容を確認した上で、できるだけ参加する方向で調整する。(鯖尻メン担当)
- ②3/8 防災ラジオウオークと風揚げへの参加を検討。はんしん自立の家の希望の風揚げとの日程調整を行い、できるだけ参加する方向で調整する。(多胡会長担当)

7. 12 月号ブリテンについて

従来の方針を踏襲。細部はメールで。

8. その他

- ①英文ニュースレター発行について確認。
- ②クリスマスカードの送付先 11 通(IBC/DBC、Seattle Club、聖書欄執筆者、ゲストスピーカー、病欠者)を確認し、今田メンに手製カードの作成をお願いした。
- ③鹿児島クラブ 30 周年記念例会への参加者を確認した。
- ④宝塚ホテル移転後の例会は基本、西公民館を使用するが、会食弁当の第2案、売布「まちこ」製の弁当@1000 円を試食した。味・量・見栄えともに満足。前回の京弁当「夏鈴」@1300 円と交互に使用することを了承した。
- ⑤武田メンから、YMCA キャンプ 100 年を記念し、Ys シニアキャンプ「余島再発見」2020.9.18～21 の案内があった。詳細は後日。

書 記 若林 成幸

2019 年チャリティーラン報告

秋晴れの 11 月 4 日、神戸しあわせの村で、2019 年チャリティーランが行われました。宝塚クラブは恒例になっています。カップラーメンと、おしるこを販売しました。当日は、ランナーなど、全体で約 700 名が集まり、支援金が 1,336,573 円でした。このチャリティーランで集まった支援金は障害のある方々の社会参画のための支援の使途に用いられます。



チャリティーラン会計報告			
売り上げ			
ラーメン@100	120	12,000	
おしるこ@100	70	7,000	
計		19,000	①
支出			
ラーメン		8,048	
おしるこ(餅、小豆)		2,375	
容器		1,327	
計		11,750	②
収益①+②		7,250	

今田和子

六甲部地域奉仕・環境事業 講演会報告、

地域奉仕・環境事業主査青柳美知子

11月16日(土)YMCA 三ノ宮本館に於いて午後2時から開いた、六甲部地域奉仕・環境事業の「地球温暖化対策、プラスチック海洋汚染を考える」講演会は29名の参加者を得て無事終える事が出来ました。講師の竹谷輝男氏は13年以上にわたって、兵庫県の「地球温暖化防止活動推進委員」として活躍されてこられ、声も大きく、熱心に話され良く聞き取れた。

プラスチックの歴史、種類、生産過程で入れられるさまざまな添加物の毒性、日本に於けるプラスチックごみの処理状況、海上に浮かぶマイクロプラスチックの量と拡散実態、魚から人への影響等、多岐にわたり、又地球温暖化問題については二酸化炭素と大気の関係、温暖化を加速させている地球上の水蒸気の量、気温と海水温の上昇の危険性等さまざまな環境変化の深刻さを話され、全員息を飲んで聞き入った。近い将来の為の地球上の生き物、我々の命に係わるあまりにも大きな問題をつきつけられたひと時となった。

「私達に出来る事」についての話し合いの時間が取れず残念だったが、次回に回す事にした。



YMCA だより

1. チャリティーラン報告

秋晴れの下、チャリティーラン 2019 を終えることができました。準備から宝塚の方々も含め多くの方に関わっていただき、ありがとうございました。当日は奉仕者、ランナーなど、全体で約 700 名が会場に足を運んでくださり、支援金は、速報金額ではありますが 1,336,573 円でした。

支援金は障害のある方々の社会参画のための支援などチャリティーランの使途に用いさせていただきます。

2. わたしたちの難民問題

神戸YMCAでは、難民事業本部関西支部、兵庫県国際交流協会と協力して世界 7 千万人以上いるといわれる難民問題をわがこととして考える機会を持っています。関心のある方はぜひお越しください。

内 容: 12 月 3 日 (火)「シリア難民に対する人材育成」、

12 月 11 日 (水)「ハリー神父とインドシナ難民」、

12 月 18 日 (水)「ミャンマー難民は、今」

場 所時間: いずれも 18:30~20:00、神戸市青少年会館 研修室(5 階)、参加費不要・要予約

詳細は <https://www.kobeymca.org/data/pdf/20191127.pdf>

3. YMCA募金活動

神戸YMCAでは、毎年 12 月に国際協力募金活動として街頭募金を行っています。

今年度は 12 月 8 日 (日) 14~16 時、神戸元町大丸百貨店前で実施します。この活動は六甲部の皆様にも協力いただいています。宝塚ワイズはキャロルを通じての協力をいただいています。街頭募金にも協力したいという方はご連絡ください。

また台風 19 号の被災地支援も継続しています。こちらもご支援のほどよろしく申し上げます。

詳細は、<https://www.kobeymca.org/data/pdf/201910172.pdf>

4. 第 61 回神戸市民クリスマス

YMCAは、エキュメニカルなクリスマスの集まりとして、神戸市民クリスマスの実施を応援しています。今年「うたうクリスマス」と題し、日本キリスト教団神戸教会において、12月13日(金)17:30～19:00に賛美と祈りのときを持ちます。自由参加ですので、ぜひ多くの方の参加をお待ちしています。

2019-2020 宝塚ワイズメンズクラブ 事業・特別事業

事業委員		(委員長)		特別		(委員長)		
	Yサ・ユース	武田 壽子	西川 勝久	事業委員	NGO 連絡協議会	鯖尻 佳子	堀江 裕一	福家 清美
	地域・環境	青柳 美知子	風早 寿郎		じゃがいも	小林 康男	吉田 明	風早寿郎
	EMC	若林 成幸	鯖尻 佳子		市民クリスマス	若林 成幸	吉田 明	長尾 亘
	広報・ブリテン	長尾 亘	福家 清美		〃		石田由美子	多胡 葉子
	交流・ファンド	福田 宏子	石田由美子					

第15回
チャリティ市民クリスマス
～YMCA国際協力基金・災害復興支援基金～

キャロルを歌う夕べ

日時: 2019年12月20日(金)
午後7時開演 (30分前開場)

場所: 宝塚ベガ・ホール (入場無料)

プログラム

第1部 朗読と音楽でつづるクリスマス物語

オルガン: 崎本晴子 ピアノ: 北野友梨・平高敬子・坂部友洋
合奏: アンサンブル・タカボ
独唱: 田中良和 (テノール)
合唱: 2019市民クリスマス合唱団・宝塚厚生幼稚園年長児・
前1: 主イエスは我らの喜び (バツハ作曲カンタータ147番より)
青少年のためのアヴェ・マリア (松下 耕作曲)
リコーダー協奏曲ニ短調Op.2より (アルビノーニ作曲)
遙かなるクリスマス (きだまさし作詞・作曲) ほか

第2部 みんなでキャロルを歌おう

ベル合奏: ホッパン・リネガーズ
ゴスペル合唱: 宝塚厚生幼稚園のお母さん
関西学院大学 (2018キャンパス)
フレイム "マハロ"
キャロルを歌おう: キャロルの花束
フィナーレ: ハレルヤ・ゴラス

主催: 神戸YMCA・宝塚ワイズメンズクラブ

協力: 日本キリスト教団宝塚教会・甲東教会・宝塚厚生幼稚園・ワイズメンズクラブ国際協会西日本区六甲部

後援: 宝塚市・宝塚市教育委員会・宝塚市国際交流協会・宝塚市文化財団・関西学院同窓会宝塚支部

連絡先: 若林成幸 090-9708-0071 shige-wakabayashi@nifty.com

2019 年 12 月 20 日市民クリスマス役割分担表

役割	分担内容	担当者	備考
全般管理 ステマネ 司会者	ホール責任者（館長）連絡窓口 開場時刻確認(舞台監督・ホール) 異常事態・満杯への対応	谷川 ステマネ：若林 司会者：石田	会計準備； P 調律 22,000 円 弁当 50,000 円 ベガ 150,000 円
会計	調律代・弁当代の支払い ホール使用料の精算・支払い 募金の管理	小林、小林メネ	控 室； 男性；中会議室 女性・ポップン； 大会議室 オケ；小会議室 1 フラ；小会議室 2 ゲスト：舞台袖控室
出演者・控室の世話 （合唱団・ダカボ、 ・フラ・ゲスト）	控室の鍵管理 弁当・茶・紙コップ等 手配 後片付け（ごみ→ごみ集積所・忘れ物 →事務所）	多胡、福田宏子、田中富基 出演者の応援を求める	
受付・募金・プレゼ ント	プログラム挟み込み（楽譜・ちらし） 来場者へプログラムの手渡し 募金協力の PR 子どもへのプレゼント手渡し	福田素子、鯖尻、加藤、 青柳、今田、小仁 今西、杉谷、風早 学生の応援を求める	プログラム消化； ゲスト出演で来場者 増加を予想。受付リー ダー（福田素・鯖尻）
車いす来場者	車イス来場者の対応（ホール最後部） ハレルヤ舞台入退場の世話	武田・多胡・自立の家職 員・ボランティア	はプログラム 400 部 が消化時点で谷川メン に連絡し、入場制限 判断を求めること。
花束等の預かり	花束プレゼント受取と該当者へ手渡し （控室に届ける）	福家・若林弘	
写真・動画	記録写真撮影（腕章着用）	長尾メンが手配	入場制限の対応；
掲示物	YMCA 活動写真の準備・展示	谷川・リーダー	谷川メンは満杯が見 込まれる場合、ベガ館 長と協議の上、入場差 し止めを宣言。来場者 に丁重にお引き取り を要請。
場内整理・案内	ホール扉の開閉・ロビー混雑時対応 客席への誘導，補助席設営の要請 入場制限の判断	谷川、リーダー	
ポップンの世話 坂部氏の付添い	控室対応 客席⇄舞台の移動援助	長尾、ポップン保護者 今井恵（元さんだワイズ）	坂部・今井氏；
幼稚園児・保護者対 応	リハ・本番の舞台誘導、入退場誘導 演奏時の保護者対応（写真、客席前方 下手ドアから退場）	岡野、幼稚園職員	第 1 部は客席で鑑賞、 休憩時間中に舞台へ 移動
舞台出演のワイズ	若林、小林、小林メネ、長尾、多胡、福田宏、石田、 田中富基（京都ウイング）		
ワイズ共通	スタッフ名札着用 後片付け終了後、ロビーに集合・写真、		21:40 頃
その他	集合時間：出演者 合唱団 15：00、その他のグループは各リハーサル開始 15 分前 Ys 世話役 17：00 本部控室：Ys 関係者はロビー横のミーティングルームを使用 食 事：弁当は中会議室又はロビーで食べる 事前準備：子供に配布するプレゼント 50 個（今田宅にて）、募金箱（谷川） ロビー壁の掲示：神戸 YMCA の活動内容（掲示可能場所を事務所に確認）（谷川） プログラム：プログラム・楽譜集 ⁸ ・YMCA 紹介パンフ を 400 部セット。		